

総務文教委員会

研修報告

平成27年10月26日～28日

小中一貫教育を

視察

千葉県鴨川市では、小中一貫教育の推進と地方創生について研修した。外房地域の同市では複式学級となる可能性があり、人口減少対策として7年前に小中一貫学校「長狭学園」（統合型）を設置した。発達段階に応じた9年間の継続的・計画的教育の実現のため従来の6・3制から4・3・2制を導入し「中一ギャップ解消」対策としている。

全体的な移行に伴う諸課題解決には「学校は子どもが主役」を根本に置く市方針があった。教育長（現市長）等の非常に強いリーダーシップによるものと感じた。

地方創生の中「学んでよかった。住んでよかったと実現できる鴨川市」をめざしている。

「スポーツ推進」のスタンスは

千葉県柏市では、スポーツ推進計画及びプロスポーツとの連携について研修した。プロスポーツ団体が多い同市では、団体との関係よりも「高齢者向けのスポーツ推進」にシフトを置いている。

「庁舎建設」早期の検討が必要

埼玉県北本市では、市庁舎建設の経緯について研修した。早くから建設の方向性を表明し、説明・議論することが重要だと感じた。



鴨川市での研修（長狭学園）

【人口】	
鴨川市	34,729人
柏市	409,447人
北本市	68,440人

先進地と学ぶ

厚生委員会 研修報告

平成27年10月14日～16日

男性のみ参加の 教室を実施

熊本県人吉市の人口は年々減少しており、高齢化率は32・89%、要介護認定状況は18・2%、また65歳以上に占める認知症高齢者の割合は12・47%である。

「男の生き方塾」は60歳以上の男性のみを対象とした介護予防、仲間づくりを目的とした運動教室など1回2時間、毎回テーマを決めて学び「40分+運動80分」で構成している。



シニア元気アップ運動教室（宮崎県国富町）

【人口】	
人吉市	34,036人
鹿児島市	605,614人
国富町	19,673人

子育て支援の 充実を

共有化を行い、地域の子育て支援機能のさらなる充実を図っている。

鹿児島市すこやか子育て交流館「りぼんかん」

は、平成22年、市の厚生施設を改築し、交流、遊びのスペース、調理、工作、水遊びや砂遊びができる施設をそなえている。もともとの浴場を「砂場」や「温水プール」として利用し、降灰時、雨天時でも利用できるよう工夫されている。子育てに関する情報の発信、情報の

介護保険料 引き下げに貢献

宮崎県国富町では「シニア元気アップ運動教室」の効果表れ始めており、参加者の5〜7割で身体機能の一部が改善。町民の健康増進が図られ、第6期の65歳以上の介護保険料の基準月額が、県内で唯一引き下げられた。